

(2)-① ハード整備のスケジュール

義務教育学校 事業計画	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和10年度					
	4.	6.	8.	10.	12.	2.	4.	6.	8.	10.	12.	2.	4.	6.	8.	10.	12.	2.	4.	6.	8.	10.	12.	2.
ハード 整備	用地買収				■	■	■	■																
	測量業務・ 地質調査					■	■	■	■	■	■													
	造成工事							■	■	■	■	■	■	■										
	建築設計					■	■	■	■	■	■													
	建設工事											■	■	■	■	■	■	■	■					
	グラウンド整備 (設計共)																	■	■	■	■			

開
校
予
定

(2)-② ソフト面のスケジュール

開校準備委員会（令和6年度～令和9年度）

- ◆地域の代表者・PTAの代表者・学校関係者・学識経験者などで構成
- ◆義務教育学校の開校にあたり、必要な事項を調査・検討
 - ◎ 教育課程・学校運営などに関すること
 - ◎ 施設・設備などの教育環境に関すること
 - ◎ 保護者・地域住民などとの連携・連絡・調整に関すること

(2)-② ソフト面のスケジュール

開校準備委員会で考えること

◎校名 → 市の条例改正（市議会で議決）

- 校章・校歌・制服
- 学校行事・開校式
- 独自の教科・特色あるカリキュラム
- 通学路・通学方法 など

→ 市教委事務局で決定
(本来は校長が決定)

(2)-③ 基本構想

義務教育学校のハード・ソフトの基本的な考え方を示すもの

作成手順

ご意見を伺いながら作成します。

- 5～6月 第1回懇談会…保護者・住民を対象
- 7～8月 第2回懇談会…保護者・住民を対象
- 校内ワークショップ…子ども・教職員を対象



このほか、7月以降にテーマ別意見交換会・アンケートなど

(2)-③ 基本構想

作成手順

9～10月 報告会で最終案を提示



基本構想(案)の完成

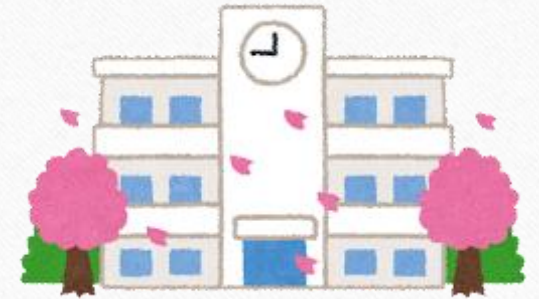


令和6年度に開校準備委員会で協議
「基本構想」として米子市教育委員会が策定

(3) 新しい学校づくりについて

義務教育学校とはどんな学校？

- 小中一貫校の種類の一つ
- 平成28年の学校教育法の改正でできた新しい学校の形
- 小学校6年、中学校3年ではなく、9年制の学校
(中1→7年生 中2→8年生 中3→9年生)
- 校長先生は一人、先生も1つの組織



Ⅰ 義務教育学校とは

義務教育学校でできること

- 9年間、**同じ教育目標**のもと、同じ方針で子どもを育てることができる。
- 9年間の**系統性や関連性**を重視した教育課程を編成することができる。
- 現在の6-3制にとらわれず、**成長過程に応じた節目**が作れる。(ブロック制)
- 日常的に様々な**異学年交流**ができる。
- 小学校から中学校への**段差を小さく**することができる。 など



義務教育学校のよさ

- 学校独自の特色ある教育ができる。
- 小学生のうちから中学校の専門性の高い教員の授業を受けることができる。
- 多くの教員が見童生徒に関わることができる。 など



ブロック制

初等ブロック4
(1~4年)

中等ブロック3
(5~7年)

高等ブロック2
(8~9年)

前期ブロック5
(1~5年)

後期ブロック4
(6~9年)

1年生から9年生までの児童生徒が一つの学校に通うという特質を生かして、9年間の教育課程において「4-3-2」や「5-4」などの柔軟な学年段階の区切りを設定することも可能